

五中だより 鳳



第6号

令和8年7月24日

文責：教頭 茅野 正和

学校教育目標／人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒の育成
めざす生徒像／①心の豊かな生徒(徳) ②自ら考え実践する生徒(知)
③健康でたくましい生徒(体)
生活の3重点／「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」

上田市立第五中学校 TEL 22-3076

学校 HP <http://www.school.umic.jp/ueda5/>

〒386-0003 上田市上野441



PC・スマホ

吹奏楽部壮行会



「壮行会がありました。私は吹奏楽部には入っていませんが、頑張ってほしいと思います。応援、しっかりと声が出せて良かったです」

「中庭に出て、気持ちを込めて大きな声で応援をすることができました。吹奏楽部の人たちの演奏がとてもきれいで迫力があり、とても上手でした。」

(生徒の書いた生活記録より)

吹奏楽部の壮行会を行いました。吹奏楽部員による演奏を3年生は直接聴き、1・2年生は様子を動画で視聴。その後、中庭に移動し、応援団と共に全校で吹奏楽部を応援しました。体育館が改修中のため、一堂に会することができない壮行会でしたが、吹奏楽部員の迫力ある演奏、全校生徒の力強い応援が校舎内外に響き渡り、素敵な壮行会となりました。



県大会・吹奏楽コンクールに挑んだ五中生



令和8年度 長野県中学校総合体育大会夏季大会② 結果

本校壮行会で壇上に上がった部・クラブについての結果を掲載しています。

上田市立第五中学校

期日	会場名	対戦結果	順位	上部大会出場
【女子バスケットボール】				
7/19 (日)	エア・ウォーターアリーナ松本	1回戦 ●上田第五・真田 27-61 松本国際中○	1回戦敗退	
【男子ソフトテニス】				
7/18 (土)	南長野運動公園テニスコート	<団体戦>		
		2回戦 ○五中 2-1 豊科南● 準々決勝 ●五中 0-2 辰野○	ベスト8	
7/19 (日)	南長野運動公園テニスコート	<個人戦>		
		1回戦 1ペア	1回戦敗退	
【女子ソフトテニス】				
7/19 (日)	南長野運動公園テニスコート	<個人戦>		
		1回戦 1ペア	1回戦敗退	



令和8年度 長野県吹奏楽コンクール東信地区大会 結果

上田市立第五中学校

期日	会場名	曲目	賞	上部大会出場
【吹奏楽部】				
7/18 (土)	上田市丸子文化会館 (セレスホール)	夕映えの丘 バレエ音楽「青銅の騎士」より	銀賞	

1 学期終了

1 学期の終業式に各学年の代表生徒が 1 学期の振り返りや 2 学期に向けての抱負を発表してくれました。

プラスワン
五中の合言葉『 + 1 』
= 自ら考え判断し行動する
を振り返る

「1 学期を振り返りとこれからの目標」

中学校に入学してからあっという間に 1 学期が経ちました。この期間を振り返ると、よくできたなと思うところ、直した方がいいなと思うところがありました。そんな私が 1 学期に頑張ったことは、集中して授業を受けることです。重要なところはすべてメモし、分かるところは積極的に発言することを心がけました。班での授業の際は、率先して準備や片づけをしました。もう一つ、私が頑張ったところがあります。それは、係、委員会での活動です。ルーム長として、常に二分钟前には席に着いていることを心がけ、そしてクラスに呼びかけることもしました。しかし、自分の課題だと思うことも出てきました。それは、家での学習です。テスト前になってから勉強することがあったりと、家での学習は全体的に見直した方がいいなと思いました。それらを踏まえて 2 学期は、余裕をもって行動するようにしたいです。提出物の猶予を問わず、できるだけ早く取り掛かり、期限ギリギリになって焦ったり、時間の余裕がなくなったりといったことをなくしたいです。そして、常に焦ることなく行動し、学校生活のパフォーマンスを +1（プラスワン）していきたいです。まだ慣れないこともありますが、中学生として、もっと上を目指して頑張っていきたいです。

1 年生代表生徒

「1 学期を振り返って」

私が 1 学期に意識したことは、「自分から」ということです。一年生の頃は人と違うことをしたり、人前に立ったりするのは極力避けていました。だからこそ、2 年生では、様々なことをできるチャンスを大切に、挑戦してみようと思いました。進級して具体的に何ができるのかを考え、ルーム長会の学年長に立候補し活動させていただいています。企画を考えたり、学年の前で話したりなど、自分から考えたり動いたりするきっかけがたくさんもらえて、とてもありがたいです。でも、やっていくうちに、そういった人前に立つだけでなく、普段の呼びかけなども生活するうえで大切だなと気づきました。日常のちょっとしたことでも、自分から進んでもっとより良くなるように考えられる力は、委員会活動以外の部活動や学習面でも生きてくると思います。2 学期は部活や委員会などを引き継いでいく時期になります。今よりもっと自分から動かなければいけないことが増えると思うので、主体的に取り組んでいけるようにします。

2 年生代表生徒

「最初で最後の 1 学期」

私はこれまでに、数えきれない程の挫折を繰り返してきました。1 年生の 3 学期には不登校になり、しばらく学校へ行けない日が続きました。3 年生になって、部活動を退部し、学習支援室を通して、日々の学校生活を送りました。そして、今年度の 4 月から、少しずつではありますが、またみんなと同じように教室での授業に参加することができています。「挫折」というのは、何かを諦めるということであり、「諦める」というのは、また新しい何かに出会える、挑戦できるチャンスだと私は考えています。不登校という立場から、教室へ戻ってくるまでの約 1 年と半年間の時を経て、たくさんの不安を抱えながら過ごした 1 学期は、毎日が挑戦の日々でした。ですが、そんな 70 日間を乗り越えることができたのは、私自身の力だけでなく、何人もの先生方や家族、そしていつも明るく元気な仲間の支えがあったからこそだと思っており、本当に感謝しています。そんな思い出の深い 1 学期が、今日で終わってしまうのは、長いようでとてもあっという間だと、今この場に立って、改めて実感しています。明日から始まる夏休みでは、休み明けからの総合テストに向けた勉強をしたいと思っています。そして、2 学期からは、中学最後の鳳祭りや来年の受験に全力で取り組めるように、引き続き無理をせず頑張っていきたいです。私にとって最初で最後の最高の 1 学期でした。

3 年生代表生徒

1 学期のあしあと



2 学年 廊下

賞!

1 学期のあしあと



七夕飾り

プランター

1 学期のあしあと



授業

学級新聞

校長先生より

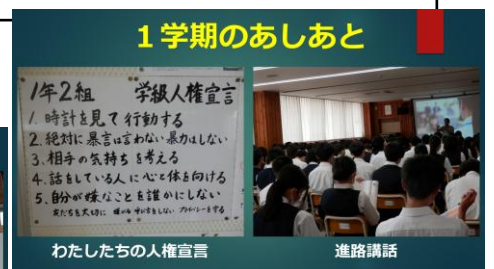
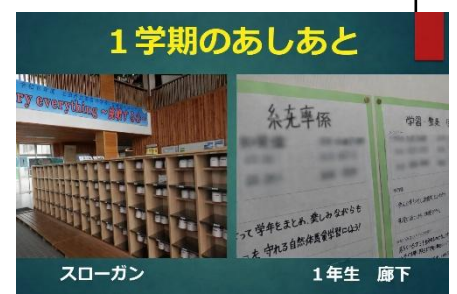
先週、全校の皆さんが過ごした1学期の様子が感じられるものはないか改めて校舎の中を回りました。始業式・入学式から約4ヶ月。新しいクラスや先生、部活動、委員会など、めまぐるしい日々だったと思います。1年生は生活に慣れ、2年生は学校の中としての自覚が芽生え、3年生は最高学年として生徒会や部活動で力を発揮しました。それぞれの立場で、本当によく努力した学期でした。

さて、この終業式は、皆さんにとって大切な「節目（ふしめ）」の時間です。「節目」という言葉は、元々「材木の節があるところ」の意味です。そこから「区切りとなる大切なところ」という意味に使われるようになりました。竹は、丸くて中が空洞ですが、強い風が吹いても、大雪が降っても、決してポキリと折れることはありません。それは、茎の途中にいくつもの硬い「節（ふし）」があるからです。竹は、伸び続けるだけでなく、途中でいったん成長を止めて「節」を作ります。その節があるからこそ、しなやかに、強く、天に向かってまっすぐ伸びることができるのです。人間にとっても「節目」をつくることで、いつまでもだらだらとせず、気持ちを切り替えるけじめとなったり、一つの目標地点となったりするなど、成長の上で大きな意味をもちます。

だからこそ、こうした学期の終わりという「節目」に、一度立ち止まって自分を振り返ることが必要です。この1学期、嬉しかったこと、できるようになったことは何ですか？逆に、悔しかったこと反省すべきことは何ですか？今日この後の学活、そして担任の先生から受け取る通知表などを通して、ぜひ自分の心の中にしっかりと「節」を作ってください。成功も失敗も、すべてこれからのあなたを支える強い「節」になります。



明日から始まる夏休みは、自分をさらに大きく伸ばすチャンスです。しっかりと節を作って、一回り遅しくなった皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。何よりも命を大切に、充実した夏休みを過ごしてください。



そして夏休み

生徒指導の係から、夏休みの過ごし方について以下のお話がありました。

「命を大切にすること」交通事故や水の事故、熱中症などに十分注意し、困ったことがあれば一人で抱え込まず、家族や先生に相談しましょう。

「SNS やスマートフォンの使い方」送った言葉や写真は簡単には消えず、画面の向こうには相手がいることを忘れずに、時間を決めて使用しましょう。

安全で充実した夏休みとし、2学期に元気な姿で会えることを願っています。

